

# コンテストについてなんですが無線そのものとは全然関係ないお話しなど

JM1LZT 富山俊一

早いもので、私が無線界に復帰してまる 8 年が経ちました。その間、240 グループとの運命的とも言えそうな出会いから始まり、HF のコンディションの悪さからの 50MHz での国内コンテスト中心の活動へのシフト、JA1ZCX の旧友との劇的再会と、「神の見えざる手」にでも導かれたかのように、イッキにここまで来てしまいました。

本当に多くの方に支えていただき、感謝しかありません。

さて、そんな私の現在の無線ライフの中心(と言うか全て?)であるコンテスト(100%移動)の時、無線そのもの以外に、いったいどんな楽しみがあるのか(はたまた無いのか)について考えてみました。

一般的に旅の楽しみと言えば、やはり食でしょう。旅先で味わうその土地特有の美味しく珍しいローカルフードは多くの方にとってメインイベントだろうと思います。では私の場合は？

ご存知の方もいらっしゃるかとは思いますが、この数年、年に 4 回 (JARL4 大コンテスト時)せっせと日光の山奥に通っています。基本的には金曜日の深夜に八王子を出発し土曜日の早朝現着。18 時間コンテストの場合は日曜日の日没までに撤収。24 時間コンテストだと、日曜日にもう一泊して月曜日に撤収という「ルーティン」を繰り返しています。

今や新宿や渋谷より「おなじみ」になってしまった圏央道～東北道ですが、私の「補給基地」は間違いなく佐野 SA です。

初めて立ち寄った時、何気なく食べた「佐野ラーメン」は本当に衝撃の一杯でした。高速道路のSA,PAの食事関係のクオリティアップが言われて久しいわけですが、それにしても、まあウマかったこと。正確には上りSAの食堂バージョンが本命。下りにもリニューアルし、すっかりオシャレになっちゃった佐野ラーメンショップがありますが、私にはお上品すぎてイマイチ。幸いなことに(?)下りSAにクルマを停めて上りのエリアに歩いて行ける仕組みになっているので、コンテストの週末の金曜日の深夜メシは毎度これです。実際には、ラーメンに加え「もう一つの国民食」カレーも一緒に食べる「わんぱくセット」を注文したりしなかったりの前期高齢者のワタクシです f\_^;

もちろん帰りにも上りSAに立ち寄り、ガッツリ食した上で、おみやげとして佐野ラーメンの半生麺を買っているのは言うまでもありません。

ただ、上りではコンテストで疲労困憊しきっているためか、ラーメン(とカレー)を食べ、クルマに戻った途端に電源シャットダウン状態になってしまい、再起動すると時計が数時間進んでいるのは、最早お約束だったりなかつたりします f\_^;



佐野ラーメン&カレーの「わんぱくセット」@佐野 SA

コンテストの運用地に現地入りすると一転して「難民キャンプ」状態に。コンテスト開始前には毎度「縁起もの」として、コンビニで買っておいだ「ハムカツ=HAM 勝つ」サンドと「前祝い」の赤飯おにぎり。

しかし、一旦本番が始まってしまったら「マトモな食事」は無し。作ったり食べたりの時間がもったいないのと、あまりガッツリ食べてしまうと、佐野 SA の例でもお分かりの通り「満腹になると眠くなっちゃう体質」のワタクシなので、基本的にはヴィダーインゼリー、カロリーメイト & お菓子が主食(?)の「カブトムシ生活」だったりしますσ^\_^; もちろんカフェイン満載のコーヒーやレッドブルは終始ガブ飲み。体力勝負のコンテストにドーピングは欠かせません(^.^)

CW コンテストのいいところは、オペレートしながら飲み食いはもちろん、タバコも吸い放題ってことでしょうか。年に2回だけ6m and down と多摩川コンテストだけはフーンもやるので、SSB で呼ばれ続けている時、「あ～早くCWに移ってタバコ吸ったり飲み食いしてえ～」状態なのは、痛し痒しです f^\_^;



お約束の「HAM 勝つサンド」と前祝いの赤飯&ドーピングコーヒー

ALL JA、全市全郡は 24 時間なので、終了は日曜日の 21 時。

「関係者=お友だち」とのオンエアラウンド QSO 反省会をそそくさと済ませ、待ちに待った時間が。カップヌードルたあ〜いむ♪電信の幻聴(?)が聞こえるアタマからヘッドセットを外し、相方の JO1CRA と 2 人で湯を沸かし、カップにお湯を注ぐ時の多幸感♪疲れ切ったカラダにカップ麺が沁みます。コンテスト終了前の 1,2 時間(めちゃくちゃヒマなんですけどやらないわけにはいかない)、ココロは完全にカップヌードルに翔んでいます。まさに「馬ニンジン」。駄馬は毎度カップヌードルというニンジン目掛けてラストスパートしております。



コンテスト終了直後の至上のカップヌードル&秘蔵のおにぎり(^o^)  
@ローテーターコントローラーの上

6m and down は日曜日の 15 時終了。17 時まで撤収を完了しないと運用地のゲートを閉められちゃってもう一泊するハメになるので

お片付けは必死です。そして全速力で撤収作業するもう一つの理由は、日光の運用地から宇都宮に至る高速道路のPAにある「そば屋」。JA1ZCX ではコンテストの打ち上げ(?)をここでそばを食しながらするのが伝統。PA のそば屋と思ってナメてはいけません。実に美味しい。私は毎度天ザルですが、名物のニラザルも美味。実は栃木って佐野のラーメンだけではなく、蕎麦の「隠れ名産地」みたいです。もちろん貧相な食生活の直後なので美味しさ三割アップ(当社比)なのかもしれませんが、「日光口PA」の蕎麦、サイコーです♪



天ザル@日光宇都宮道路 日光口PA

東京コンテスト、東京 CW コンテスト、多摩川コンテストは毎回浅間尾根駐車場からの参戦です。コンテスト前、中は日光と大して変わらぬ「カブトムシ生活」ですが、帰りはちょっと異なります。

浅間尾根駐車場での撤収作業も実は全速力で必死です。そう、運用地からクルマで10分ほど下ると「数馬の湯」という温泉が。もちろん、ゆったりと温泉に浸かりながらコンテストの振り返りをするのもさることながら、その食堂で舞茸の天ぷらとザルそばを食べるのがお約束。数年前、あまり深く考えずに食べてみた舞茸の天ぷら。もう、ちょっと私の語彙力では表現しきれないぐらい美味しく、なんだったら無線なんか関係なしに檜原村まで行ってみようかと思わされるぐらい私の舌にジャストフィット。どうやら多くの方にも好評のようで、コンテストを終え着いてみると「売り切れ」という非情の文字…ということも何度か経験し、とにかくコンテストが終わったら1分、1秒でも早く券売機の前に立つことが、今や私の「ノルマ」となってます f\_(\_;



ワタクシ「一人で」食べるザルそば with 舞茸天ぷら@数馬の湯(^\_^)

衣食住。もちろん全てが大切だとは思いますが。しかし、どうやら私の場合、コンテストの週末は風呂にも入らず着たきり雀で、エコミー症候群の恐怖に震えながらクルマのシートに座り続け、夏は大量の虫たちと戦いを繰り広げるといった、衣と住については「不健康で非文化的なサイト～の生活」です。それでも年に7回、飽きもせず、せつせと山奥通いを続けられているのは、ひょっとしたら無線の魅力もさることながら、「ウマイもの食いたい」という食欲のなせるワザなのかもしれません。

その昔、部活で散々汗を流し、難行苦行に耐えられたのも、終わった後に飲む「至福の一杯の水」のためだったように思えます。

古希もそう遠くない前期高齢者のオツさん(つ～かジジイ)が、部活やってる中学生と同じような動機で「仕事じゃないこと」に全力で臨めるのって、ちょっとウレシかったり、なかつたりしている春の初めです^^



ドーピングのもと@たぶん合法(^\_^)v